

「一本のカシの木」の舞台となる森林について

おはなしの舞台は、照葉樹林です。国内では、沖縄から東北地方南部に分布し、シイ属、アカガシ亜属、タブノキ属、ツバキ属などの種で構成されています。

土砂災害



兵庫県立大学名誉教授 服部保先生提供

近年、集中豪雨や、土石流、土砂災害などが、よくニュースにもなっていますね。

これは実際に六甲山で土砂崩れの際（きわ）で残ったウラジロガシの写真です。

登場する樹木、動物、植物などから、このおはなしの舞台は、兵庫県六甲山と想定しました。

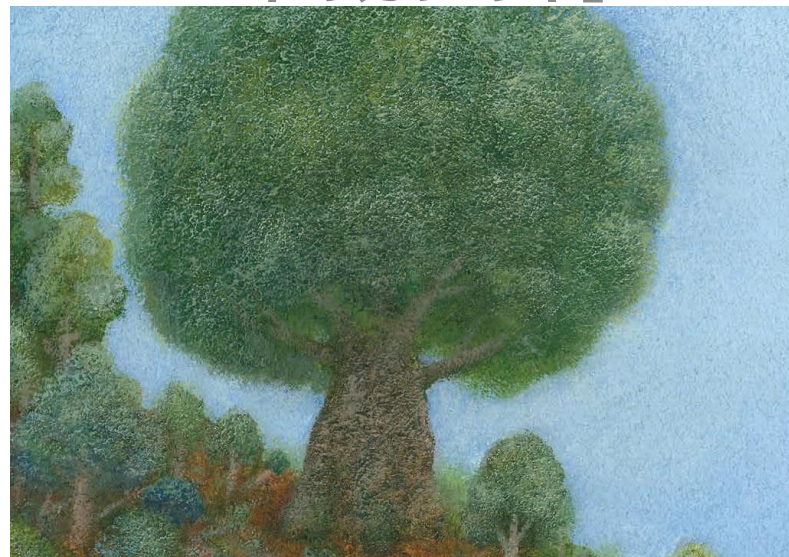
KOBELCO森の童話大賞HPの「おはなしを書く前に」で、森についての詳しい情報を発信しています。ぜひご覧ください。
HP www.kobelco-mori-ohanashi.jp



絵本活用のヒント

第6回中高生の部金賞受賞作品

「一本のカシの木」



KOBELCO 森の童話大賞について

森はたくさんのいきものの命を育み、空気をきれいにし、水をたくわえ、私たちの暮らしに安全と豊かな恵みを与えてくれます。でも、一度森が元気を失ってしまうと、元通りにするには長い年月と、大変な努力が必要になります。

このような「森」を理解し、大切にすることを、次の世代を担う子どもたちに育んでもらうため、神戸製鋼グループは「森」をテーマにしたおはなしを募集し、絵本を作っています。

この絵本を読んで、一人でも多くの子どもたちが、森をはじめとする自然について考え、かけがえのないものであると気づき、そして、いつか、森を、自然を、元気することを何か一つでも実行していただければと思っています。

「一本のカシの木」の世界



メジロ

全長約12cm。日本全土に生息。
目の回りが白い輪があり、それが名前の由来になっている。雑食だが、花の蜜を好み、ツバキやウメの蜜を吸う。

アカガシ

ブナ科コナラ属の常緑広葉樹。
本州の宮城県・新潟県以西、四国、九州に分布。
樹高は20m程の大木になる。
(兵庫県川西市妙見山のアカガシの写真→
兵庫県立大学名誉教授 服部保先生提供)
幹は、絵や写真のように縦にボコボコしている。



ヤブツバキ

ツバキ科ツバキ属の常緑広葉樹。
本州、四国、九州、沖縄に分布。
樹高は5~6mだが、
大木になると10m程になる。
成長は遅く、寿命は長い。
冬から春にかけて花が咲く。

タヌキ

体長50~80cm。
本州、四国、
九州に生息。



ニホンノウサギ

体長45~54cm。
本州、四国、九州と
その周辺の島に生息。

ニホンイノシシ

体長100~170cm。
西日本を中心に、本州、
四国、九州に広く生息。

ホンドキツネ

体長52-76cm。
本州、九州、四国に生息。



ニホンリス

全長16~22cm。
日本の固有種。
本州、四国に生息。
九州や広島などでは絶
滅したとも言われており、
神戸市版レッドリ
スト2015でもBラン
クになっている。